

大阪府教育委員会教育長 様

大阪府立堺支援学校
校長 橋本 輝幸

学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

取り組む課題	児童生徒の自立支援 児童生徒の学力の充実	
評価指標	1 視線入力装置を扱える教員数の向上。 2 視線入力装置を用いたアセスメントの活用率の向上。 3 児童生徒の発達を支援する学習ツールとしての活用率の向上	➔ <ul style="list-style-type: none"> ①視線とパソコンの連動性の認知 ②視線入力とパソコン画面(ソフト)の関連性の認知 ③意思伝達可能児の発掘・育成等
計画名	「重度肢体不自由(発話が困難)の視線入力装置を活用したアセスメントの充実とコミュニケーション力の向上」	

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	1 教職員の資質向上を基とした学校力向上 (1) 児童生徒が有する力の客観的評価と、それに基づく指導体制の構築。 ウ 視線入力システム導入による、児童生徒のコミュニケーション力向上への取り組み。 ※教育環境の改善を試みると共に、視線入力システムによる指導プログラムを作成する。		
事業目標	1 視線入力装置を児童生徒のアセスメント(視野・眼球運動等)に活用することで、本校の自立活動領域のアセスメントでの課題の検証に活かし、実態に応じた合理的配慮を整え、適切な指導を行う。 2 視線入力装置の仕組みや使い方を学び、学習ツールとして活用することで、自己表現力を育み、コミュニケーション力を向上させ、将来の自立と社会参加に向けた学びの充実を図る。		
取り組みの概要	整備する 設備・物品 (概要)	視線入力装置一式【ノートパソコン、視線検出装置、視線入力ソフト、視線分析ソフト、ノートパソコン用固定具(スタンド型・アーム型)外部ケーブル】	
	取組 内容	前年度	<ul style="list-style-type: none"> ・視線入力装置(Tobii Eye Tracker 4C)を用い、小、中、高等部の児童生徒の抽出を行い、自立活動専任スタッフによるアセスメントを実施。 ・社会福祉法人日本肢体不自由児協会主催の「障がいの重いこどものコミュニケーション支援機器活用講座」～視線入力機器の活用を中心に～への研修参加。 ・「自立活動だより」による保護者への情報提供。
		初年度	<ul style="list-style-type: none"> 〈環境整備〉 ・視線入力装置と周辺機器設備の設置。・指導プログラムの作成。 〈校内支援・研修〉 ・校内自立活動研修による視線入力装置の周知と理解推進。(教職員への理解度の効果検証アンケート実施) ・自立活動専任スタッフ及び自立活動分掌部員によるアセスメントへの活用事例報告会。(教職員に視線入力装置を使って児童生徒のアセスメントの様子を紹介し、知識と理解を深める) ・スーパーバイザーによる授業支援及び協議とICT研修。(校内) 〈保護者への発信〉 ・「自立活動だより」による保護者への情報提供。 〈地域支援〉 ・夏季研修会で地域の学校にアセスメントのデモンストレーションを行う。
		2年目	<ul style="list-style-type: none"> 〈校内支援・研修〉 ・教職員へアセスメントに向けての活用支援。(対象児童生徒の担任等の30%:対象児童生徒約30名) ・訪問籍の児童生徒へのアプローチ。 ・自立活動専任スタッフによる授業(学習ツール活用)の実践発表と研究協議(スーパーバイザーによる助言)で教職員の視線入力装置への知識と理解を深め、教職員による活用力を向上させる。 〈保護者への発信〉 ・ブログで視線入力装置の活用事例を保護者に発信。 〈地域支援〉 ・リーディングスタッフによる地域の学校での視線入力装置によるアセスメント支援。
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> 〈校内支援・研修〉 ・教職員へアセスメントに向けての活用支援。(対象児童生徒の担任等の40%:対象児童生徒約30名) ・訪問籍の児童生徒へのアプローチ。 ・教職員による授業(学習ツール活用)の実践発表と研究協議(スーパーバイザーによる助言)を行い、視線入力装置によるアセスメントと学習効果を全校教職員間で共通理解し更に活用力を高める。 〈保護者への発信〉 ・ブログで視線入力装置の活用事例を保護者に発信。 〈地域支援〉 ・自立活動専任スタッフ及び自立活動分掌部員による視線入力装置活用の実践報告会を本校の夏季研修会で実施し、地域の学校及び近隣の支援学校へ情報発信する。 	
取組の 主担・実施者	主担：視線入力活用機器推進プロジェクト (指導教諭1名、リーディングスタッフ1名、自立活動専任スタッフ3名、自立活動分掌部員1名) 実施者：全教員の6割程度(学習ツール活用率)9割程度(アセスメント活用率)を予定		
成果と 評価 指標 方法	初年度	1 視線入力装置を扱える教職員を20%以上にする。 2 視線入力装置を用いたアセスメントの活用を対象児童生徒の40%をめざす。 3 視線入力装置を用いた学習ツールとしての活用率。 3-①41% 3-②16% 3-③3%	
	2年目	1 視線入力装置を扱える教職員を30%以上にする。 2 視線入力装置を用いたアセスメントの活用を対象児童生徒の70%をめざす。 3 視線入力装置を用いた学習ツールとしての活用を対象児童生徒の22%(7/31)をめざす。 3-①58% 3-②25% 3-③6%	
	3年目	1 視線入力装置を扱える教職員を40%以上にする。 2 視線入力装置を用いたアセスメントの活用を対象児童生徒への90%をめざす。 3 視線入力装置を用いた学習ツールとしての活用を対象児童生徒の29%(9/31)をめざす。 3-①80% 3-②38% 3-③12%	

3. 事業費

事業費総額	1,710,000	円
-------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目(節)を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。				見積に基づく清算			実勢価格に基づく積算		
科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額	
1 報償費	1	スーパーバイザー講師謝礼金	○			¥40,000	1	¥40,000	
	2	スーパーバイザー講師謝礼金		○		¥40,000	1	¥40,000	
	3	スーパーバイザー講師謝礼金			○	¥40,000	1	¥40,000	
								小計	120,000
2 旅費	1								
	2								
	3								
								小計	
3 消耗需用費	1								
	2								
	3								
								小計	
4 維持需用費	1								
	2								
	3								
								小計	
5 役務費	1								
	2								
	3								
								小計	
6 委託料	1								
	2								
	3								
								小計	
7 使用料 及び賃借料	1								
	2								
	3								
								小計	
8 備品購入費	1	視線入力装置一式				¥491,500	3	¥1,474,500	
	2	納品訪問・設置 インストラクション代				¥50,000	1	¥50,000	
	3	特別割引				¥-52,277	1	¥-52,277	
	4	消費税				¥117,777	1	¥117,777	
								小計	¥1,590,000
9 工事請負費	1								
	2								
	3								
								小計	
10 負担金・補助 及び交付金	1								
	2								
	3								
								小計	
							合計	¥1,710,000	